

YAMAHA

**ELECTRONIC  
PIANO  
CP-30**

ヤマハ・エレクトロニック・ピアノCP-30  
取扱説明書

76鍵、音源2系列のダイナミック・サウンド

感覚派

ヤマハ

エレクトロニック

ピアノCP-30

ヤマハ・エレクトロニック・ピアノCP-30をお買い上げ頂きまして  
まことにありがとうございました。

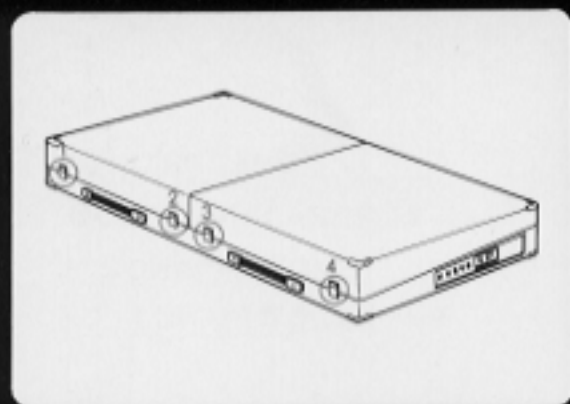
エレクトロニック・ピアノCP-30は、76鍵タッチレスポンス式、音  
源2系列、アウトプット2系列に数々の新機構を加えて今までにな  
い新しい音創りを目指したニュー・タイプの電子発振式ピアノです。  
オーソドックスなアコースティック・ピアノやパープシコードはも  
ちろん、2系列の音源をずらしたホンキートンクサウンドやステー  
ジ効果を高めるステレオ方式のトレモロなど、豊富な機能をコンパ  
クトに収めたCP-30はまさにプロフェッショナルタイプ、あなたの  
ミュージックライフを一変させてしまうでしょう。

## 目 次

- 組み立て..... 1
- 各部の名称..... 2
- スピーカーシステムへの接続..... 4
- 機能と操作..... 5
- トーンコントロール..... 7
- 付属端子..... 8
- 仕様と音域表..... 9
- アフターサービス.....10



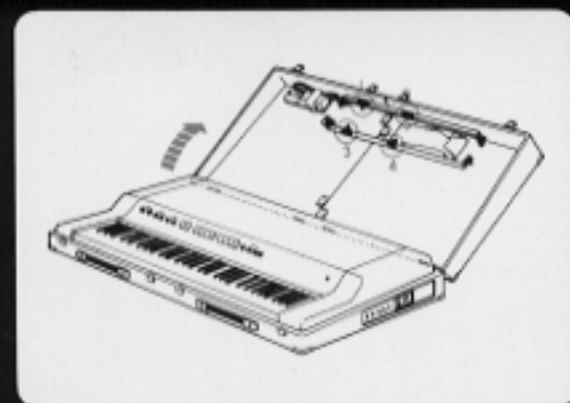
## ●組み立て



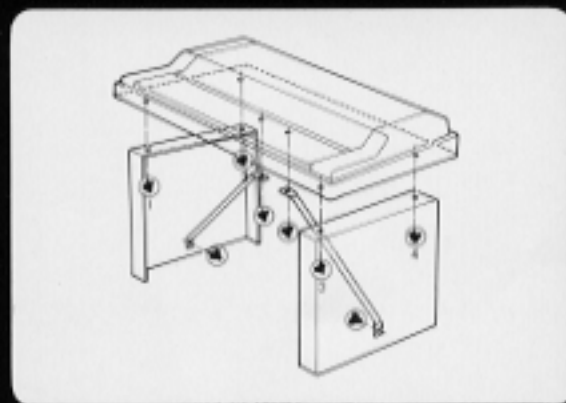
〈図 1〉 本体を図のように下に置き、①④のバッチン錠をはずします。



〈図 3〉 図 2のノブビスをはずし、Aの箇所内側にあるバッチン錠をはずして蓋脚の左右を引きますと二つに分かれます。



〈図 2〉 蓋を開きますと上蓋内部にACコード、脚柱、サスティナーペダルが収納されています。脚柱を固定しているノブネジ①④をはずし、脚柱を取り出します。ノブネジは本体と蓋脚との接続用に使いますのでなくさないようわかり易い所へ置いてください。



〈図 4〉 本体を横にし、図のように蓋脚と本体とを図 2の接続用ノブネジで固定し、脚柱を取りつけます。  
※この際ビス止めをゆるめにし、立てた状態で安定してから確実に固定するようにします。



●各部の名称



NO1

PIANO2

PIANO3

●HARPSICHORD

●BALANCE

●TONE

●VOLUME

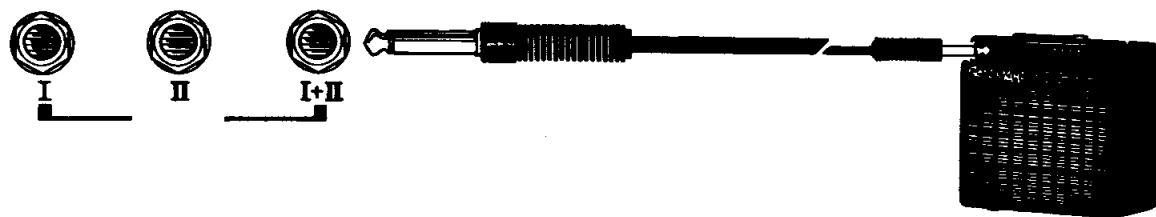
●POWERスイッチ



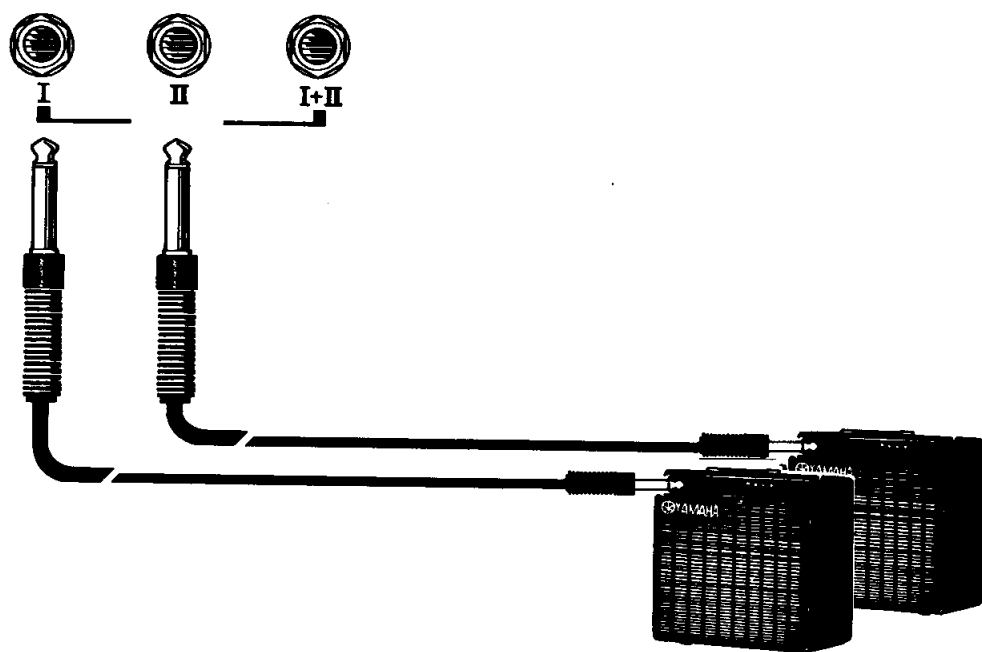
●サスティナーペダル

エレクトロニック・ピアノCP-30は音源2系列で構成されています。その接続端子はI系列、II系列のモノアウトプットと、I・II系列のモノミックスアウトプットがあります。モノアウトプットからは系列別に得られ、さらに音響効果はダイナミックさを増します。とくにトレモロでは、180位相の異った音が左右のスピーカーを飛びかきステージで一層の効果を発揮します。

接続例1：1台のスピーカーシステムに接続する場合。



接続例2：2台のスピーカーシステムに接続する場合。



\*ギターアンプに接続する場合には、LOW入力ジャックを使用して下さい。





## ●機能と操作

# 幅広い音色群。

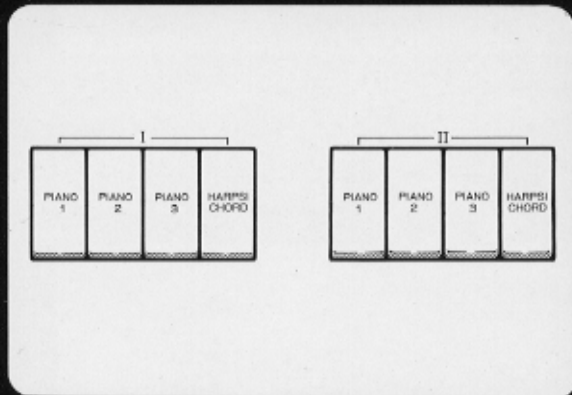
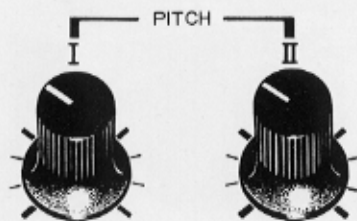
2系列の音源は各々に、4種の音色タブレット、ピッチコントロール、ディケイコントロールを装備、さらに2系列をダイナミックにするためのパラントコントロールやステレオ方式のトレモロシステム(セレクト・タブレット、スピード、インテンシティー)トーンコントロール(バス、トレブル)をもっています。

### 1. 音色タブレット

CP-30の音色を決めるのがこのタブレットです。音源I、音源IIの各々にPIANO1,PIANO2,PIANO3,HARPSICHORDの4種類のタブレットがあり、タブレットの下端を押すとONになります。4種の音を独立して使うだけでなく、2種以上のミックスも可能ですので、種々のサウンド・バリエーションをお試しください。

### 2. PITCH I, II (ピッチコントロール)

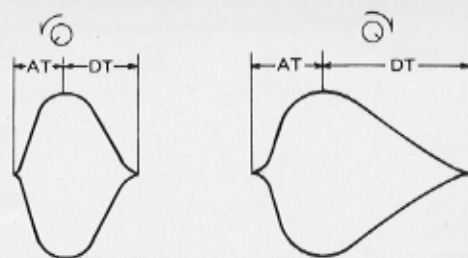
音源I, IIの音色タブレットに対し、ピッチI, IIの各々のコントロールが対応します。  
例：まず音源IのPIANO1だけをONにして、PITCH Iを調節し、音叉などの基準音に合わせる。次に音源IIのPIANO1を追加し、PITCH IIを調節してウナリが出ないようにします。(PITCH I, IIが合っていないとウナリが生じます) また、ピッチI, IIを意識的に変えるとヴィブラートやホンキートンク・サウンドが創れます。(標準ピッチ440Hz, 可変範囲約437~453Hz)



### 3. DECAY I, II (ディケイコントロール)

ピアノやハーブシコードのサウンドの特徴の一つに音が自然に減衰します。(普通のピアノでは鍵盤を叩くと音が出始めますがその鍵盤を押え続けていても音は自然に消えてしまいます) DECAY I, IIはこの音の減衰の時間をコントロールし、つまみを左いっぱいに戻すと音は短く切れ、右に回すと音は長く伸びます。

音源I, IIの各々に対してコントロールできますので各音源の音色やトレモロなどを変えてミックスし、ディケイを調節しますと1つの音の立ち上りと後で音色が変わり、新しい感覚のサウンドが得られます。



AT: ATTACK TIME  
DT: DECAK TIME

#### 4. BALANCE(バランス・コントロール)

音源 I, IIの音量バランスをコントロールします。

後述のOUTPUT I, II及び I + IIの各々に対し有効ですので I + IIのときには音源 I, IIのミキシング・バランス, アンプを2台使って, OUTPUT I 及び IIから各々のアンプに接続しているときには各アンプへの出力バランスとなります。

#### 5. TREMOLO(トレモロ)

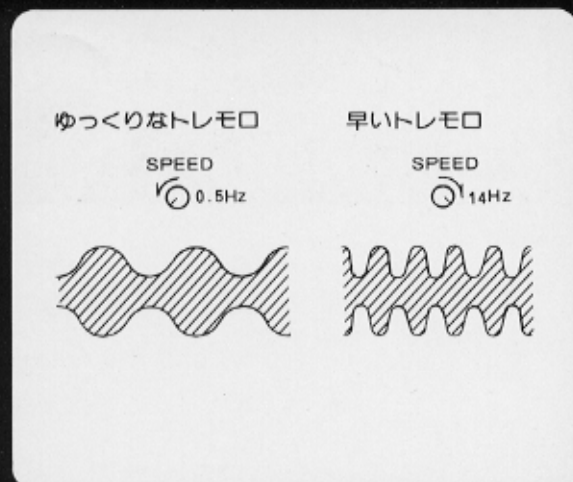
CP-30はステレオ方式のトレモロシステムを内蔵していますのでステージ演奏やステレオ録音の時などにOUTPUTを I, II別々のアンプで左右に振り分けて使うとピアノの音が左右に揺れるようなダイナミックな効果が得られます。

##### ①セレクトタブレット

音源 I, IIに対するトレモロ効果のセクターで, タブレット下端を押すと ON になります。

##### ②SPEED(スピード)

トレモロの早さをコントロールします。

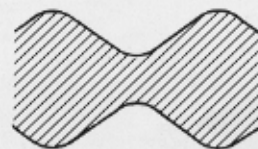


#### トレモロサウンド

##### ●OUTPUT I

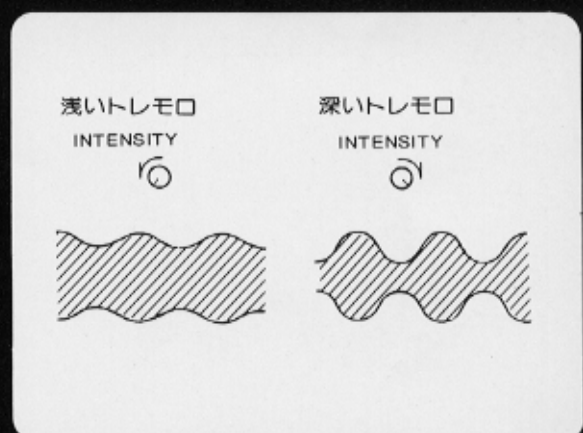


##### ●OUTPUT II



##### ③INTENSITY(インテンシティ)

トレモロのかかる度合い(深さ)をコントロールします。

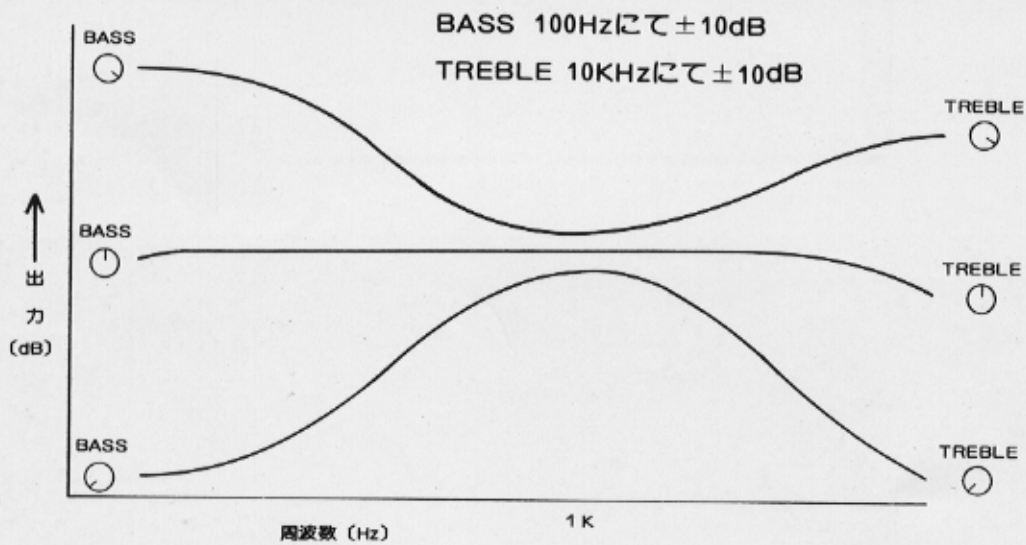




## ●トーンコントロール

各チャンネルの微妙に異った音色を同時にコントロールし、さらに変化の富んだ音色が得られます。

- BASS このツマミは低音部をコントロールします。  
右に回すほど効果は強くなり重厚な音色が得られます。
- TREBLE このツマミは高音部をコントロールします。  
右に回すほど軽やかで軽快な音色になります。

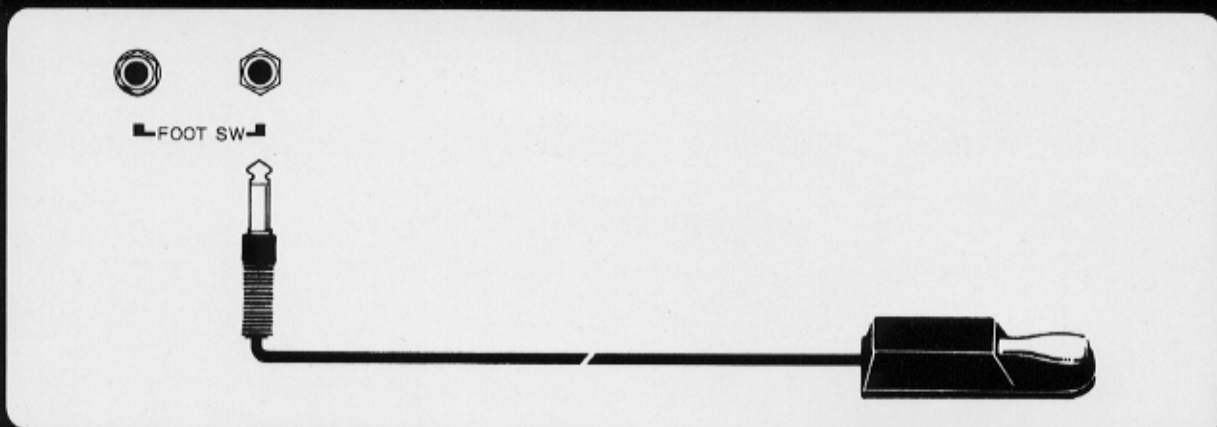


- BALANCE センター位置を中心とし、ツマミを左右にすることで、モノアウトプットにおける I, II 系列音のミキシング効果をコントロールします。
- VOLUME エレクトロニックピアノ CP-30 の出力レベルを決定します。

## ●付属端子

### ●フットスイッチジャック

本体右側面にあります。このジャックにサスティナーペダルを接続しますと、サスティナーペダルで減衰時間のコントロールができます。この場合ディケイツマミで設定されたサスティンが得られます。



### ●TREMOLLO

本体右側面にあります。このジャックにフットスイッチ (ON/OFF) を接続します。このフットスイッチは、メインパネルにあるトレモロセクションと連動し、曲の途中でトレモロ効果を得たいときON、必要のないときにOFFすることのできるトレモロON/OFFフットスイッチとなります。



## ●仕様と音域表

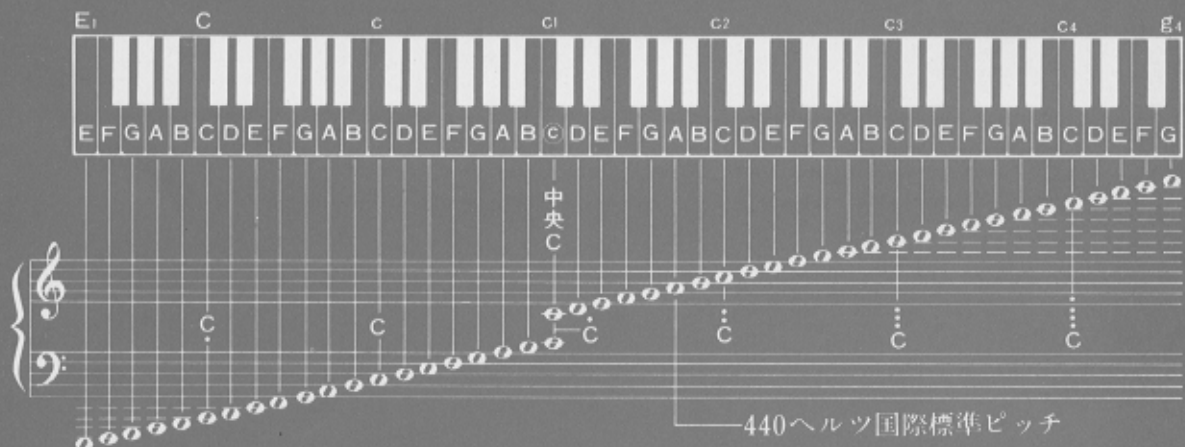
### ELECTRONIC PIANO CP-30

- 鍵盤数  
76鍵 6オクターブ $\frac{1}{4}$ (E<sub>1</sub>~g<sub>4</sub>)
- 音色タブレット
 

|             |             |
|-------------|-------------|
| PIANO 1     | PIANO 1     |
| PIANO 2     | PIANO 2     |
| I PIANO 3   | II PIANO 3  |
| HARPSICHORD | HARPSICHORD |
- エフェクトタブレット  
TREMOLO I, TREMOLO II
- エフェクトボリューム  
PITCH I PITCH II (可変範囲約437~453Hz)  
DECAY I DECAY II  
SPEED (0.5~14Hz) INTENSITY (変調度最大約70%)  
BASS TREBLE  
BALANCE VOLUME
- フットスイッチジャック  
SUSTAIN  
TREMOLO
- アウト フット ジャック
 

|        |           |      |
|--------|-----------|------|
| I      | 出カインピーダンス | 600Ω |
| II     | "         | "    |
| I + II | "         | "    |
- その他  
POWER SW  
PILOT LAMP

- 半導体  
トランジスター：204石  
FET：8石  
IC：17石
- 定格電圧  
AC100V
- 定格周波数  
50/60Hz
- 定格消費電力  
25W
- 外観  
仕上げ ビックボトルロー  
ズダップ合板+黒  
ビニールレザー貼  
り  
間 □ 1,276mm  
奥行き 641mm  
高さ 790mm(展開状態)  
181mm(運搬状態)  
重量 54kg
- 付属品  
サスティナーペダル  
ACコード



仕様はやむを得ず変更する場合があります。



## ●アフターサービス

### ●保証

エレクトロニックピアノCP-30の保証は、保証書によりご購入から満1ケ年です。ただし、現金、ローン、月賦などによる区別は一切いたしません。また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

### ●保証書

ピアノの納入調整サービスの際、納入調整者が保証書内へ必要事項記入のうえ、お客さまにお渡し申しあげます。保証書をお受取りの時は、お客さまのご住所、お名前、お買上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますのでくれぐれもご注意ください。



### ●保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社がエレクトロニックピアノをご購入いただいたお客さまに、ご購入の日から向う1カ年間の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮の上で保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別やサービス依頼店の確認など便

利にご利用いただけます。

### ●納入調整サービス

エレクトロニックピアノをお納めさせて頂きますと、お買上店、またはヤマハのサービスマンがエレクトロニックピアノのご説明かたがたお納めしたエレクトロニックピアノの調子を最良状態にするよう点検調整を致します。お求めのエレクトロニックピアノについてご不明の点およびお聞きになりたい点がございましたらその節にお願い申しあげます。

### ●保証期間中のサービス

1. 保証期間中に万一故障が発生した場合には、お求めになった販売店あるいはヤマハの技術係までご連絡ください。

2. この保証書は、調整修理した時に今後の製品改良の貴重な資料とするため技術者がお預りさせていただきます。お預りした保証書は、弊社支店に送られ、記録した後に各支店から直接お客さまにご返送申しあげます。この間、約1週間～10日間程度を要しますがご心配なくお待ちくださるようお願い申しあげます。

3. お買上げ販売店より遠方に移転される場合は、事前に弊社支店にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申しあげますと同時に、引き続き保証期間中のサービス責任をもって行なうよう手続きいたします。

### ●保証期間後のサービス

満1カ年の保証期間が切れますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。保証期間以後の移転の場合も保証期間中と同様にご連絡いただきましたら、移転先の取扱店をご紹介いたします。

下のヤマハのサービス網をごらんください。

### ヤマハのサービス網

- 本社 浜松市中沢町10-1電音サービス課エレクトーン技術 ☎(0534)61-1111
- 東京支店 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内・エレクトーン技術 ☎(03)572-3111
- 大阪支店 大阪府吹田市新芦屋下1-16・エレクトーン技術 ☎(06)877-5151
- 名古屋支店 名古屋市中区錦1-18-28・エレクトーン技術 ☎(052)201-5141
- 九州支店 福岡市博多区博多駅前2-11-4・エレクトーン技術 ☎(092)472-2151
- 北海道支店 札幌市中央区南10条西1丁目・エレクトーン技術 ☎(011)512-6111
- 仙台支店 仙台市1番町2-6-5・エレクトーン技術 ☎(0222)27-8511
- 広島支店 広島市祇園町西原862(技術センター内) ☎(08287)4-3787
- 浜松支店 浜松市鍛冶町122・エレクトーン技術 ☎(0534)54-4111



- |               |   |       |   |
|---------------|---|-------|---|
| 本社・工場         | 〒430 浜松市中沢町10-1<br>TEL. 0534(61)1111              | 神戸支店  | 〒651 神戸市葺合区浜辺通り6丁目1の36<br>TEL. 078(232)1111     |
| 東京支店          | 〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル内<br>TEL. 03(572)3111    | 四国支店  | 〒760 高松市丸亀町8-7<br>TEL. 0878(51)7777             |
| 銀座店           | 〒104 東京都中央区銀座7-9-14<br>TEL. 03(572)3111           | 名古屋支店 | 〒460 名古屋市中区錦1-18-28<br>TEL. 052(201)5141        |
| 渋谷店           | 〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7<br>TEL. 03(463)4221          | 北陸支店  | 〒921 金沢市泉本町7-7<br>TEL. 0762(43)6111             |
| 池袋店           | 〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2<br>TEL. 03(981)5271          | 九州支店  | 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4<br>TEL. 092(472)2151      |
| 横浜支店          | 〒231 横浜市中区本町6-61-1<br>TEL. 045(212)3111           | 福岡店   | 〒810 福岡市中央区天神1-11 福岡ビル内<br>TEL. 092(721)7621    |
| ジョイナス<br>ヤマハ店 | 〒220 横浜市西区南幸1-5-1<br>TEL. 045(311)6361 4          | 小倉店   | 〒802 北九州市小倉区魚町1-1-1<br>TEL. 093(531)4331        |
| 千葉支店          | 〒280 千葉県千葉港2-1 千葉コミュニティセンター内<br>TEL. 0472(47)6611 | 北海道支店 | 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目 ヤマハセンター<br>TEL. 011(512)6111 |
| 関東支店          | 〒370 高崎市歌川町8番地 高崎センター内<br>TEL. 0273(27)3366       | 仙台支店  | 〒980 仙台市1番町2-6-5<br>TEL. 0222(27)8511           |
| 大阪支店          | 〒564 吹田市新芦屋下1-16<br>TEL. 06(877)5151              | 広島支店  | 〒730 広島市紙屋町1-1-18<br>TEL. 0822(48)4511          |
| 心斎橋店          | 〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39<br>TEL. 06(211)8331            | 浜松支店  | 〒430 浜松市鍛冶町122<br>TEL. 0534(54)4111             |
| 梅田店           | 〒530 大阪市北区梅田町1 阪神百貨店5階<br>TEL. 06(345)4731        |       |   |